

表1 水分試験における出芽低下割合（％）

試験時期	過湿処理				対 照（適 湿）
	全期間	播種直後	発芽直後	発芽揃い	
春播種試験	46.1 ± 17.2	32.0 ± 17.7	59.0 ± 6.9	73.5 ± 7.1	83.3 ± 5.8
秋播種試験	36.3 ± 11.2	59.4 ± 11.2	84.1 ± 2.8	81.1 ± 6.5	84.6 ± 10.4

出芽低下割合は薬剤処理区の無処理区に対する出芽数の低下割合で、 $100 - (\text{薬剤処理区の出芽数} / \text{無処理区の出芽数}) \times 100$ で算出。過湿処理はポットの土壌表面にわずかに水面がみえる程度とした。

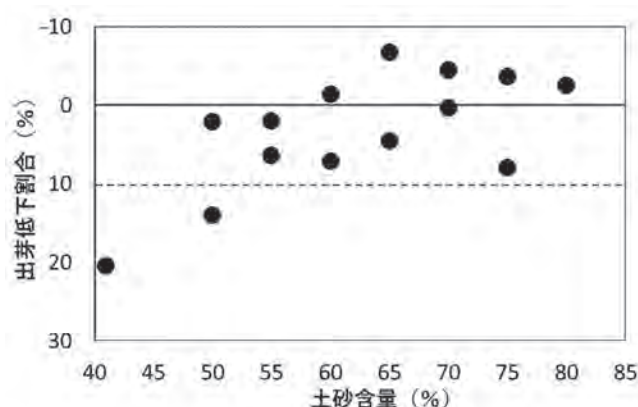


図1 土砂含量と薬害による出芽低下割合の関係（ポット試験）

出芽低下割合は無処理区に対する出芽率の低下を示す。薬量500ml/10a、適湿条件で実施。春、秋播種試験のデータ。

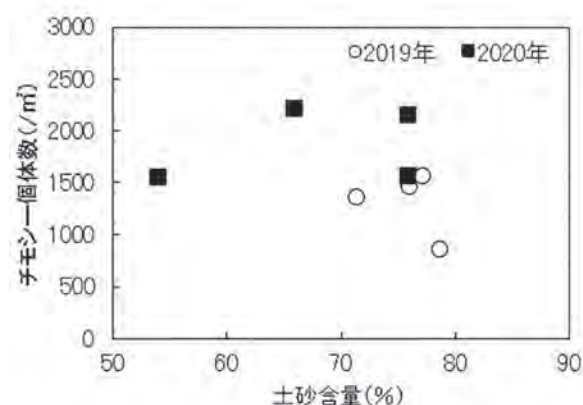


図2 播種床処理を実施した圃場における土砂含量と越冬前TY 個体数の関係（現地試験）

2019年は1圃場から4地点を調査した値。2020年はA～D圃場においてそれぞれ別の地点（10反復）の平均値。播種日は9月12-19日、調査日は2019年は10月17日、2020年は10月26日。チモシー播種量は2kg/10a、播種床処理の散布量は500ml/10a。

表2 播種床処理を行いOG・PRを播種した圃場の晩秋の茎数と雑草冠部被度

圃場名	土砂含量 (%)	播種床処理区の茎数(本/㎡)				雑草冠部被度(%)	
		OG	PR	OG・PR合計	WC	播種床処理区	無処理区
E	64.5	756	920	1676	—	9	62
F	64.5	620	1232	1852	392	5	55

それぞれ5地点の平均値。播種日は8月27日、調査日は11月2日。播種床処理の散布量は300ml/10a。調査時OGは茎数＝個体数で、PRは1個体あたり茎数が2～3本程度。

詳しい内容については、次にお問い合わせ下さい。
道総研酪農試験場天北支場 地域技術グループ 岡元英樹
電話 01634-2-2111 FAX 01634-2-4686
E-mail okamoto-hideki@hro.or.jp